



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月16日

上場会社名 株式会社CAC Holdings 上場取引所 東
 コード番号 4725 URL <https://www.cac-holdings.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒匂明彦
 問合せ先責任者(役職名) Enterprise Value Upグループ長 (氏名) 酒井伊織 (TEL) 03(6667)8010
 四半期報告書提出予定日 2020年6月17日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	12,874	△5.0	705	6.3	710	△0.0	411	△2.1
2019年12月期第1四半期	13,550	9.3	663	201.4	710	396.2	420	329.6

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △1,887百万円(-%) 2019年12月期第1四半期 1,960百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	24.93	—
2019年12月期第1四半期	22.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	41,314	23,481	54.9
2019年12月期	45,626	25,797	54.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 22,662百万円 2019年12月期 24,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	2.6	2,000	52.1	1,900	51.1	1,400	△6.7	84.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は業績管理を年次で行っているため、第2四半期累計期間の業績予想は開示を行いません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期 1 Q	20,541,400株	2019年12月期	20,541,400株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	4,023,505株	2019年12月期	4,023,505株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期 1 Q	16,517,895株	2019年12月期 1 Q	18,422,379株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項については添付資料をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	11
(1) セグメント別連結受注高	11
(2) セグメント別連結受注残高	11
(3) 業種別連結売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年3月31日、以下「当第1四半期」）の売上高については、前第4四半期連結会計期間（2019年10月1日～2019年12月31日）に子会社化したMitrais Pte. Ltd.（以下「Mitrais」）の連結寄与があったものの、インド子会社にて前第1四半期連結累計期間（2019年1月1日～2019年3月31日、以下「前第1四半期」）に計上した大型案件の反動減や、CRO事業の減収等により、前年同期比5.0%減少の128億74百万円となりました。利益については、CRO事業の減益があったものの、Mitraisの新規連結寄与をはじめとする海外IT事業の増益があったことから、営業利益は同6.3%増加の7億5百万円、経常利益は同0.0%減少の7億10百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同2.1%減少の4億11百万円となりました。

なお、当第1四半期において、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴う経済活動の停止等により、国内外では景気が急速に悪化しましたが、当社グループでは在宅勤務やオンライン会議等を活用し事業継続したため、業績への影響は軽微となりました。しかしながら、各国におけるロックダウンや緊急事態宣言による自粛要請等の影響により、新規案件獲得や新規顧客開拓等の将来の企業成長を担う活動は停滞しています。また、当社グループが属する情報サービス業界は、経済動向に対して遅れて影響を受ける傾向もあることから、業績への影響が第2四半期以降に顕在化する可能性があります。

一方で、アフターコロナを見据えた「新しい生活様式」では、デジタル化への対応、つまりデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」）が企業に一層求められてきます。当社グループの中期経営戦略（2018年度～2021年度）の重点施策でもあるDX対応をより強力に推進し、リモートワークソリューションや、人を介さずに業務を進めるための自動化・デジタル化等、アフターコロナにおける顧客のDXニーズを取り込んでいきたいと考えています。

セグメントごとの業績は次のとおりです。売上高につきましては、外部顧客への売上高を表示しています。

なお、当第1四半期連結会計期間（2020年1月1日～2020年3月31日）より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、国内ITセグメントと海外ITセグメント間におけるオフショア事業に係るセグメント利益又は損失の測定方法を変更しています。これに伴い、前第1四半期のセグメント情報は、変更後の方法により作成したものを開示しています。

売上高

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
国内IT	8,289	61.2%	8,387	65.2%	98	1.2%
海外IT	3,045	22.5%	2,683	20.8%	△362	△11.9%
CRO	2,214	16.3%	1,803	14.0%	△411	△18.6%
合計	13,550	100.0%	12,874	100.0%	△675	△5.0%

セグメント利益

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)		前年同期比	
	セグメント利益	利益率	セグメント利益	利益率	金額	増減率
国内IT	605	7.3%	573	6.8%	△31	△5.3%
海外IT	31	1.0%	216	8.1%	185	593.1%
CRO	27	1.2%	△84	—	△111	—
合計	663	4.9%	705	5.5%	41	6.3%

<国内IT>

売上高は、前年並みに推移し、83億87百万円（前年同期比1.2%増）となりました。セグメント利益については、一部子会社における人事制度更改の影響によるコスト増等により、5億73百万円（同5.3%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、当第1四半期は軽微なものに留まりました。しかし、対面による営業活動自粛の流れから、新技術分野等の複雑な説明を必要とする案件の獲得や新規顧客開拓が停滞していること、また、一部顧客の投資動向にも変化が見られること等から、今後影響を受ける可能性があります。

<海外IT>

売上高は、前第4四半期連結会計期間に子会社化したMitraisの連結寄与があったものの、インド子会社で前第1四半期に計上した大型案件の反動減等により、26億83百万円（前年同期比11.9%減）となりました。セグメント利益については、Mitraisの連結寄与等により、2億16百万円（同593.1%増）となりました。

当セグメントの中核子会社があるインドでは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年3月下旬からロックダウンが始まりました。現在、インド国内の一部地域では緩和されつつありますが、当社子会社の拠点は感染拡大地域のため、ロックダウンが継続しています。長らく経済活動が停止しているため、インド経済の先行きが不透明な状態となっており、これに伴い、第2四半期以降の業績へは少なからず影響が生じると考えています。

<CRO>

売上高は、主要顧客を中心に減収となり、18億3百万円（前年同期比18.6%減）となりました。セグメント利益については、コスト削減に努めたものの、減収の影響等により、84百万円のセグメント損失（前年同期は27百万円のセグメント利益）となりました。

前年度からの業績低迷に伴い、当セグメントでは構造改革による事業の立て直しを図っており、収益力の回復に注力していますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応等により、構造改革が遅延しています。また、事業においても、製薬会社による治験の中断や延期等が発生しており、同感染症拡大による業績への影響は避けられないと考えています。当セグメントにおいては、収益悪化を最小限に留めるべく努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて43億12百万円減少して413億14百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が11億80百万円減少、有価証券が5億円減少、投資有価証券が27億17百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて19億97百万円減少して178億32百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金が2億2百万円減少、未払法人税等が9億43百万円減少、繰延税金負債が4億49百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて23億15百万円減少して234億81百万円となりました。主な変動要因は、その他有価証券評価差額金が20億63百万円減少、為替換算調整勘定が2億39百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う業績への影響は、在宅勤務やオンライン会議等を活用し事業継続したため軽微となりましたが、将来の糧となる新規案件や新規顧客の獲得に向けた営業活動には停滞が見られます。また、当社グループが属する情報サービス業界は、経済悪化による投資マインドの低下に影響を受けることから、業績に反映されるまでタイムラグが生じる傾向にあります。よって、第2四半期以降に業績への影響が顕在化する可能性があります。

しかしながら、現時点では影響額を合理的に算定することが困難であるため、2020年2月14日に公表しました2020年12月期の通期業績予想は据え置いています。

引き続き、各国グループ会社の状況を注視していき、影響額の合理的な算定が可能となり、業績の変動が重大なものである場合には連結業績予想の見直しを行い、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,313	8,133
受取手形及び売掛金	9,607	9,870
有価証券	800	300
商品	255	129
仕掛品	698	447
貯蔵品	34	29
その他	2,049	2,031
貸倒引当金	△288	△278
流動資産合計	22,471	20,663
固定資産		
有形固定資産	2,639	2,582
無形固定資産		
のれん	623	561
その他	1,369	1,319
無形固定資産合計	1,992	1,880
投資その他の資産		
投資有価証券	15,431	12,714
繰延税金資産	710	1,176
その他	2,627	2,529
貸倒引当金	△246	△232
投資その他の資産合計	18,522	16,187
固定資産合計	23,155	20,651
資産合計	45,626	41,314

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,440	3,237
短期借入金	1,140	1,075
1年内返済予定の長期借入金	2,020	2,019
未払法人税等	1,258	314
賞与引当金	398	924
その他	4,296	3,676
流動負債合計	12,554	11,248
固定負債		
長期借入金	17	14
関係会社事業損失引当金	1,224	1,175
退職給付に係る負債	3,243	3,101
繰延税金負債	756	306
その他	2,033	1,986
固定負債合計	7,275	6,583
負債合計	19,829	17,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,702	3,702
資本剰余金	3,692	3,683
利益剰余金	17,185	17,184
自己株式	△4,874	△4,874
株主資本合計	19,705	19,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,150	3,086
為替換算調整勘定	△78	△317
退職給付に係る調整累計額	199	198
その他の包括利益累計額合計	5,271	2,967
非支配株主持分	821	819
純資産合計	25,797	23,481
負債純資産合計	45,626	41,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	13,550	12,874
売上原価	10,719	9,926
売上総利益	2,830	2,947
販売費及び一般管理費	2,166	2,242
営業利益	663	705
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	8	8
為替差益	9	17
持分法による投資利益	2	1
債務勘定整理益	87	19
その他	15	41
営業外収益合計	126	98
営業外費用		
支払利息	68	43
コミットメントフィー	0	0
投資事業組合運用損	1	29
その他	9	19
営業外費用合計	80	93
経常利益	710	710
特別利益		
投資有価証券売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
減損損失	-	28
特別損失合計	-	28
税金等調整前四半期純利益	710	682
法人税、住民税及び事業税	401	257
法人税等調整額	△123	△7
法人税等合計	277	249
四半期純利益	433	432
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	420	411

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	433	432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,463	△2,063
為替換算調整勘定	63	△258
退職給付に係る調整額	△0	1
その他の包括利益合計	1,527	△2,320
四半期包括利益	1,960	△1,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,946	△1,891
非支配株主に係る四半期包括利益	14	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	国内IT	海外IT	CRO	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,289	3,045	2,214	13,550	—	13,550
セグメント間の内部売上高又は振替高	60	320	1	382	△382	—
計	8,350	3,366	2,216	13,932	△382	13,550
セグメント利益	605	31	27	663	—	663

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	国内IT	海外IT	CRO	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,387	2,683	1,803	12,874	—	12,874
セグメント間の内部売上高又は振替高	76	426	1	504	△504	—
計	8,464	3,110	1,804	13,378	△504	12,874
セグメント利益又は損失(△)	573	216	△84	705	—	705

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映するため、国内ITセグメントと海外ITセグメント間におけるオフショア事業に係るセグメント利益又は損失の測定方法の変更を行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の方法により作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) セグメント別連結受注高

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
国内IT	9,071	55.0	9,391	59.5	319	3.5
海外IT	3,666	22.3	3,574	22.6	△92	△2.5
CRO	3,741	22.7	2,820	17.9	△920	△24.6
合計	16,479	100.0	15,785	100.0	△693	△4.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。また、外部顧客への受注高を表示しております。

(2) セグメント別連結受注残高

(単位：百万円)

	前第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
国内IT	7,489	39.7	8,389	42.4	900	12.0
海外IT	3,787	20.1	4,438	22.5	651	17.2
CRO	7,594	40.2	6,923	35.1	△670	△8.8
合計	18,870	100.0	19,751	100.0	881	4.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。また、外部顧客への受注残高を表示しております。

(3) 業種別連結売上高

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
金融	2,833	20.9	3,128	24.3	295	10.4
製薬	3,505	25.9	3,309	25.7	△196	△5.6
製造	1,717	12.7	2,117	16.5	400	23.3
情報・通信	1,415	10.4	1,400	10.9	△15	△1.1
サービス業など	4,078	30.1	2,918	22.6	△1,160	△28.5
合計	13,550	100.0	12,874	100.0	△675	△5.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。また、外部顧客への売上高を表示しております。

当第1四半期連結会計期間より、当社グループの特徴をより明確に示すため、業種別区分を従来の「金融」「信託」「医薬」「食品」「製造」及び「サービス他」の6区分から、「金融」「製薬」「製造」「情報・通信」及び「サービス業など」の5区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の業種別情報は、変更後の業種別区分に基づき作成したものを開示しております。